

第13号様式の2(第18条関係)

平成23年10月4日

静岡県知事 川勝 平太 様

住所(所在地)

報告者 静岡県浜松市中区元城町218-26

氏名(名称及び代表者氏名)

社会福祉法人 聖隸福祉事業団

理事長 山本 敏博



地域医療支援病院業務報告書

平成22年度の業務について、次のとおり医療法第12条の2の規定により報告します。

記

1. 地域医療支援病院の名称 社会福祉法人 聖隸福祉事業団 総合病院 聖隸三方原病院
2. 開設の場所 静岡県浜松市北区三方原町3453番地
3. 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
4. 共同利用の実績
5. 救急医療の提供の実績
6. 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
7. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
8. 資料並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
9. 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績
10. 患者相談の実績



「被介患者」に対する医療提供及び他の「病院又は診療所」に対する被介患者の実績

地域医療支援病院被介率 平成22年4月1日～平成23年3月31日	91.5%	算定期間 平成22年4月1日～平成23年3月31日	地域医療支援病院被介率 平成22年4月1日～平成23年3月31日
A：被介患者の数 13,537人	B：被介患者の数 3,671人	C：初診患者の数 (法第30条の3に基づく)作成された医療計画における 位置づけにおける被介医療事業を行った場合の数 18,807人	「被介患者」に対する医療提供及び他の「病院又は診療所」に対する被介患者の実績 (被介患者の数)
算定期間 平成22年4月1日～平成23年3月31日	算定期間 平成22年4月1日～平成23年3月31日	算定期間 平成22年4月1日～平成23年3月31日	算定期間 平成22年4月1日～平成23年3月31日
A：被介患者の数 14,594人 (5,705人)	B：被介患者の数 3,671人	C：初診患者の数 (法第30条の3に基づく)作成された医療計画における 位置づけにおける被介医療事業を行った場合の数 18,807人	「被介患者」に対する医療提供及び他の「病院又は診療所」に対する被介患者の実績 (被介患者の数)

「地域医療支援病院被介率」欄は、A、Bの和をCで除した数値で100を乗じて小数	点以下第1位まで記入する。
(注1) 「地域医療支援病院被介率」欄は、A、Bの和をCで除した数値で100を乗じて小数	点以下第1位まで記入する。
(注2) 地域医療支援病院被介率は、60%以上とするため具体的な年次計画を提出する	地域医療支援病院被介率を80%以上とするため具体的な年次計画を提出する

(注3) 他の病院又は診療所に被介する患者の数は0.1未満、「A：被介患者の数」
欄に記入する。
①うち、他の病院又は診療所に被介する患者の数を併せて記入する。

(様式例第1) デ派付資料

算定内訳】	(初診患者)	(緊急患者)	救急車搬入件数	③初診患者数	④連絡件件数	割合率	連絡件率		(①+②)/③	④/③
							①紹介患者数	②救急患者数		
2010年4月	1,159	285	378	1,544	1,209	93.5				
5月	1,067	308	428	1,484	1,174	92.7				
6月	1,157	269	398	1,590	1,257	89.7				
7月	1,259	350	440	1,731	1,222	86.4				
8月	1,119	328	482	1,674	1,222	86.4				
9月	1,093	254	401	1,473	1,228	91.4				
10月	1,149	299	384	1,585	1,193	91.4				
11月	1,160	319	436	1,576	1,180	93.8				
12月	1,035	301	465	1,435	1,160	93.1				
2011年1月	1,041	358	547	1,553	1,129	90.1				
2月	1,072	280	400	1,435	1,169	94.2				
3月	1,226	320	478	1,727	1,427	89.5				
2010年度	13,537	3,671	5,237	18,807	14,594	91.5				

1. 共同利用の実績

共同利用の実績

(様式別第2)

1. 当該前年度の共同利用を行った医療機関の数	173件/年
2. 乙丸5の医療機関との共同指導の数	171件/年
① 國立型病院共同指導	486回/年
② 分娩	93件/年
③ 手術	250件/年
2-1 疾患	2.乙丸5の医療機関との共同指導の数
① 國立型病院共同指導	486回/年
② 分娩	93件/年
③ 手術	250件/年
2-2 機器別項目の延べ数	1.当該前年度の共同利用を行った医療機関の数
①.画像診断部	MRI検査 1,942件 (甲丸5直接開院のため医療機関) (H22.4.1~H23.3.31) CT検査 1,358件 (甲丸5直接開院のため医療機関) (H22.4.1~H23.3.31) RI検査 92件 (甲丸5直接開院のため医療機関) (H22.4.1~H23.3.31) 骨密度検査 77件 (甲丸5直接開院のため医療機関) (H22.4.1~H23.3.31) 上部内視鏡検査 169件 (甲丸5直接開院のため医療機関) (H22.4.1~H23.3.31)
②.臨床検査部	心電図検査 0件 (甲丸5直接開院のため医療機関) (H22.4.1~H23.3.31) 超音波検査 9件 (甲丸5直接開院のため医療機関) (H22.4.1~H23.3.31) 心電図検査 0件 (甲丸5直接開院のため医療機関) (H22.4.1~H23.3.31) 脳波検査 7件 (甲丸5直接開院のため医療機関) (H22.4.1~H23.3.31) 肺機能検査 0件 (甲丸5直接開院のため医療機関) (H22.4.1~H23.3.31) 標準聴力検査 0件 (甲丸5直接開院のため医療機関) (H22.4.1~H23.3.31)
3. 病床	精神科入院 患者数 6,723名 (甲丸5直接開院のため医療機関) (H22.4.1~H23.3.31)
	病床利用率 83.5%

注) 当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、共同利用行為を明記する者と定義する。
直接開院のため医療機関の延べ数、乙丸5の医療機関との共同使用者と定義する。

第六章 聲明書

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ひたる

第六章

5. 全體 · 訓修室

四三二六

F 3 (32床) F 4 (26床) F 5 (24床) F 6 (24床)

B5 (16床) C2 (17床) C3 (20床) C4 (23床) C5 (23床) C6 (28床)

A3 (17床) A4 (16床) A5 (16床) B2 (16床) B3 (13床) B4 (15床)

4. 濕室（廁所）

超音波、顯微鏡、顯微等之診斷儀器

3. 酸味檢查器

故對銀器首三七六

上部消化道內視鏡檢查之大手刀、下部消化道內視鏡檢查之大手刀等⑦機器

MRI、CT、RI等の診断機器

乙圖解釋

区域医療医師連絡会、岡山県

1. 地域医療重複率

2. 共同利用の範囲等

3. 登錄醫療機器的名稱

醫療機器名	開發者名	住所	主要診療科	地城醫療支援醫院開設 者之的經營上之關係	(樣式例第2~3別紙) 參照

注) 同一の2次医療圏に所在する医療機器の名記入を省略。

326床

常時共同利用可能床数

聖隸三方法學院は、平成12年8月に開設型病院の施設認定を受理されたうえで、登録医師会単位にて行なった。院内主治医と共同診療ができる体制を整えたうえで、手術・画像診断・検査等の院内設備をご利用いたる患者の方々が施設認定を進めたうえで。

医師会名	契約年月日 (単位:人)	登録医師会員数	合計
医師会	平成12年4月1日	442	613
医師会	平成12年5月1日	28	59
医師会	平成12年4月1日	84	84
医師会	平成12年7月1日	613	613

開設型登録医師会一覧

(様式別第2の3別紙)

(様式例第3)

救急医療の提供の実績

1. 重症救急患者の受入状況(医療施設の確保状況)

救急用又は患者輸送用自動車による搬入	救急医療患者の数	上記以外の救急患者の数	合計	2台
5,237人	(987人)	18,029人	(2,684人)	23,266人
				(3,671人)

2台

救急用又は患者輸送用自動車

(注) 救急用の患者数は1台目、前年度の廃止数を記入する。

括弧内は、各医療機関の患者数のうち院外要介患者数を記載する。

(注) 教育責任者はDIT特需品事項欄に必ず記載するべし。

担当指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
吉村 洋美	看護師	精神科	精神看護師	19年	
片桐 博真	医師	内分秘代謝科	部長	19年	
岩瀬昌廣	医師	脳卒中科	部長	36年	教育責任者
浅井 鑑一	医師	救急科	部長	30年	
名倉博史	医師	呼吸器内科	部長	21年	
片桐昌廣	医師	内分泌代謝科	部長	19年	
横村光司	医師	呼吸器内科	部長	19年	
齋田敦	事務員		事務員		
山本英輔	放射線技師	画像診断部	技師長		
春嶽健史	理学療法士	DIB(手筋)部	課長		
伊藤健太	看護師	医療相談室	室長		
伊藤容子	看護師	地域医療連携室	室長		
齋垣洋一郎	事務員				

(3) 担当指導者

(2) 担当委員会設置の有無

(1) 担当窗口方式の有無

3. 担当の体制

(注) 前年度の担当者の実績を記入するべし。

担当者数	3,795人
------	--------

2. 担当の実績

(様式例第4-1別紙) 参照

1. 担当の内容

地域の医療従事者の質営の向上を図るための担当の実績

(様式例第4)

施設名	床面積	被褥類要	大木一九
小公廳室	80.52	(王女貴嬌) 74-1式、机12台、椅子36脚、 机12台、椅子36脚、	机12台、椅子36脚、 机12台、椅子36脚、 机12台、椅子36脚、
看護第一公廳室	12.93	(王女貴嬌) 机2台、椅子6脚 机2台、椅子6脚	机2台、椅子6脚 机2台、椅子6脚
看護第二公廳室	12.93	(王女貴嬌) 机2台、椅子6脚 机2台、椅子6脚	机2台、椅子6脚 机2台、椅子6脚
看護第三公廳室	14.00	(王女貴嬌) 机2台、椅子6脚 机2台、椅子6脚	机2台、椅子6脚 机2台、椅子6脚
看護第四公廳室	46.72	(王女貴嬌) 机11台、椅子33脚、机1台、 机11台、椅子33脚、机1台、	机11台、椅子33脚、机1台、 机11台、椅子33脚、机1台、
木下乙太2階公廳室	60.00	(王女貴嬌) 机7台、机42台、机1台、机1台、 机7台、机42台、机1台、机1台、机1台、	机7台、机42台、机1台、机1台、机1台、
第六公廳室	34.8	(王女貴嬌) 机4台、椅子8脚 机4台、椅子8脚	机4台、椅子8脚 机4台、椅子8脚
第七公廳室	70.67	(王女貴嬌) 机12台、椅子36脚 机12台、椅子36脚	机12台、椅子36脚 机12台、椅子36脚

4 頒佈實施的考覈及評價的標準

①審理方法の概略を記入する乙。

王)「該處之圖示為器皿之構造,圖之器皿人多以為要妙好之、全體之乞乞

管理责任人姓名 蒋晓晨 和功	管理监督者姓名 李昊 翟昊 孙一郎
----------------------	----------------------------

該處並非以病院的管理及社會管理為主體記錄的体系的管理方法

(第五回第5)

(注) 国庫件数は丁口立替、前年度の繰越余数を記入する。又、

前年度の繰国庫件数		0 件
医師		0 件
薬剤師		0 件
地方公共団体		0 件
その他		0 件

国庫者別

病院の管理及び運営に関する請託の国庫方針及国庫の実績	国庫担当者氏名 地域医療医師連絡室 (地域医療連絡室内)
病院責任者氏名 病院長 林野 和功	国庫責任者氏名 地域医療連絡室 岩見 雄司 洋一郎

病院の管理及び運営に関する請託の国庫方針及国庫の実績

(様式例第6)

委員会の開催回数

1 回

委員会の開催回数

委員会における議論の概要

1. 講習委員会委員報介

2. 地域医療支援専門家による報介率・連絡介率等の実績報告

3. その他

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要は1回以上、前年度のもの記載するこだ。

(模式例第 8)

患者相談の実績

患者相談を行った場所	相談窓口・相談室・その他()	MSW 7名 主として患者相談を行った患者 (複数回答可)	看護師 5名 主として患者相談を行った患者 (複数回答可)	患者相談件数 32,061 件(患者延べ件数)	患者相談の概要
------------	-----------------	-------------------------------------	-------------------------------------	----------------------------	---------

医療相談

(相談内容)

受診相談
・入院相談
・退院相談
・経済問題相談
・日常生活問題相談
・精神問題相談

分類区分別に振り分け (重複回答を含む ①件数)

①健康相談	3,085	5,417	8,502	②医療行為・医療事故・情報公開	170	964	1,134
③診察報酬等の費用負担	1,069	975	2,044	④職員の外出・接遇	9	28	37
⑤病院の設備、人員、運営体制	0	7	7	⑥その他	10,362	3,936	14,298
	14,695	11,327	26,022				

看護相談 実数名集計

退院調整

2,180

(注)患者相談の概要は以下(註)、相談内容を適切に分類し記載する旨を記す。

△会議(会員等が本会議所で開催される会議)

患者相談件数 32,061件

①健康相談	1,074	1,779	2,853	②医療行為・医療事故・情報公開	185	350	535
③診察報酬等の費用負担	219	46	265	④職員の対応・接遇	25	11	36
⑤病院の設備、人員、運営体制	0	0	0	⑥その他	117	53	170
	1,620	2,239	3,859				

面談・電話相談

(注)患者相談の概要は以下(註)、相談内容を適切に分類し記載する旨を記す。

第三編 医療機関の名簿(平成22年度)

院長名	医院名	住所	主な診療科	経営上 ○看護
諸井進一郎	諸井医院	茨井市堀越3-8-5	小兒科・内科	
石垣清木	野草二之谷診療所	茨井市堀越3-8-1	小兒科・TBA等	
山崎正巳	山崎医院	園音郡霧峰町下623-1	内科・小兒科	
土手邦夫	老人保健施設さくら	茨井市大高区鏡ヶ島221	内科・呼吸器・消化器	
山崎香	山名診療所	茨井市堀越3-8-1	内科・呼吸器・消化器	
渡邊謙典	渡辺整形外科	茨井市堀越3-8-8	整形・外科・筋肉疾患・手・足・肘・膝	
小畠由光	貝見の里消化器内視鏡クリニック	茨井市上山根145	消化器科・胃腸科・内科・外科・ECC科	
鈴木厚子	鈴木内科医院	茨井市富尾925	内科・循環器科	
矢野清樹	矢野内科医院	茨井市下山根2070	内科・肝	
源尾均	源尾均	茨井市堀井1289-41	内科・呼吸器・TBA等	
合計				
613				

● 指挥会開催状況

開催日	研修内容	研修責任者	参加者数	備考
2010年5月25日(火)	第22回実技検査・脚下器具講会 講義「脚下内視鏡検査」	専科 大野 友久	129	1 130
2010年7月13日(火)	第23回実技検査・脚下器具講会 講義「経鼻胃管挿入」	専科 大野 友久	108	4 112
2010年9月14日(火)	第24回実技検査・脚下器具講会 講義「下部消化管内視鏡検査」	専科 大野 友久	108	1 109
2010年11月9日(火)	第25回実技検査・脚下器具講会 講義「下部消化管内視鏡検査」	専科 大野 友久	97	0 97
2011年1月21日(金)	第4回実技検査・脚下器具講会 講義「下部消化管内視鏡検査」	専科 大野 友久	83	0 83
2011年3月22日(火)	第26回実技検査・脚下器具講会 講義「呼吸器合併症」	専科 大野 友久	111	0 111
◆ 2011年3月5日(土)	◆ 2011年3月6日(日) ◆ 2011年3月6日(日) ◆ 2011年3月6日(日)	研修内容 研修責任者 参加者数	636 6 642	● 指挥会開催・脚下器具講会／会場：聖隸三方原病院 教育棟3階大ホール ● 指挥会開催・脚下器具講会／会場：聖隸三方原病院 教育棟3階大ホール ● 指挥会開催・脚下器具講会／会場：聖隸三方原病院 教育棟3階大ホール ● 指挥会開催・脚下器具講会／会場：聖隸三方原病院 教育棟3階大ホール
2011年3月5日(土)	◆ 2011年3月6日(日) ◆ 2011年3月6日(日)	研修内容 研修責任者 参加者数	636 6 642	● 指挥会開催・脚下器具講会／会場：聖隸三方原病院 教育棟3階大ホール ● 指挥会開催・脚下器具講会／会場：聖隸三方原病院 教育棟3階大ホール ● 指挥会開催・脚下器具講会／会場：聖隸三方原病院 教育棟3階大ホール ● 指挥会開催・脚下器具講会／会場：聖隸三方原病院 教育棟3階大ホール
2011年3月6日(日)	◆ 2011年3月5日(土) ◆ 2011年3月6日(日)	研修内容 研修責任者 参加者数	636 6 642	● 指挥会開催・脚下器具講会／会場：聖隸三方原病院 教育棟3階大ホール ● 指挥会開催・脚下器具講会／会場：聖隸三方原病院 教育棟3階大ホール ● 指挥会開催・脚下器具講会／会場：聖隸三方原病院 教育棟3階大ホール ● 指挥会開催・脚下器具講会／会場：聖隸三方原病院 教育棟3階大ホール

明细项目	明细内容	所修责任者		增加金额
		院内	院外	
2010年7月5日(月)	锯机刀71-33-2-5-1-3-2			
2010年8月2日(月)	锯机刀72-为人作孽痛			
2010年9月6日(月)	锯机刀73-呼吸器进气			
2010年10月4日(月)	锯机刀74-消化器进气			
2010年11月1日(月)	锯机刀75-精馏进气			
2010年12月6日(月)	锯机刀76-氯取刀刀707			

問題 B	新增音效	新增實件音	新增外音	新增內音	問題 A
2010年6月14日(月)	教育講座 挑剔力71(皮膚的解剖生理、創傷治療理論)	絲看鏡部員 吉村 浩美	9	47	56
2010年7月13日(火)	教育講座 挑剔力72(導管的解剖(DSIGN-R)実際)	絲看鏡部員 吉村 浩美	9	46	56
2010年8月10日(火)	教育講座 挑剔力73(導管の導管法、創傷被覆創の使い方)	絲看鏡部員 吉村 浩美	10	41	54
2010年9月16日(火)	教育講座 挑剔力74(導管の導管法と手筋(ハサツ))	絲看鏡部員 吉村 浩美	13	41	53
2010年10月7日(火)	教育講座 挑剔力75(看護師の役割 病室の手筋(ハサツ))	絲看鏡部員 吉村 浩美	11	42	53
2010年11月1日(火)	教育講座 挑剔力76(手筋(ハサツ)の役割)	絲看鏡部員 吉村 浩美	4	30	44

開催日		開催責任者		出席者名簿		参加者数	
2010年4月22日(木)	県西群山ひのくじ事務機関会議	早川 道也	数据教員会	83	18	101	
2010年5月27日(木)	県西群山ひのくじ事務機関会議	早川 道也	数据教員会	117	17	134	
2010年6月24日(木)	県西群山ひのくじ事務機関会議	早川 道也	数据教員会	96	13	109	
2010年7月29日(木)	県西群山ひのくじ事務機関会議	早川 道也	数据教員会	89	13	102	
2010年8月26日(木)	県西群山ひのくじ事務機関会議	早川 道也	数据教員会	84	18	102	
2010年9月22日(火)	県西群山ひのくじ事務機関会議	早川 道也	数据教員会	68	18	86	
2010年10月28日(木)	県西群山ひのくじ事務機関会議	早川 道也	数据教員会	66	13	79	
2010年11月25日(木)	県西群山ひのくじ事務機関会議	早川 道也	数据教員会	49	14	63	
2010年12月16日(木)	県西群山ひのくじ事務機関会議	早川 道也	数据教員会	59	16	75	
2011年1月27日(木)	県西群山ひのくじ事務機関会議	早川 道也	数据教員会	55	16	71	
2011年2月24日(木)	県西群山ひのくじ事務機関会議	早川 道也	数据教員会	71	10	81	
2011年3月24日(木)	県西群山ひのくじ事務機関会議	早川 道也	数据教員会	38	15	53	

◆ 市民公關課題／会場：亞韓三方原病院 教員樓3階大木一丸地						
開催日	研修内容	研修責任者	参加者数	計	81	39
2010年9月4日(土) 「職人×O&Tセミナー」	亞韓三方原病院 外科医長 須田直樹	講師是 教師 和助	45	8	53	67
2010年11月28日(日) 「職人×O&Tセミナー」	亞韓三方原病院 外科医長 須田直樹	講師是 教師 和助	36	31	67	

◆ 地域医療研修会(地域×人材育成連携拠点病院研修会)						
開催日	研修内容	研修責任者	参加者数	計	107	64
2010年8月23日(月)	平成22年度人材育成連携拠点病院医療徳事者研修会:開催場所 亞韓三方原病院 水口仁二科部長 兼田 達也	講師是 教師 和助	32	46	78	
2010年10月13日(水)	平成22年度人材育成連携拠点病院医療徳事者研修会:開催場所 亞韓三方原病院 水口仁二科医長 須田 駿	講師是 教師 和助	0	20	20	
2010年9月7日(火)	第2回 障碍弱視力27L2Z(OGC)	「敗血症、低栄養」 「脳卒中」 「眼瞼性筋肉痙攣」	0	18	18	
2010年10月5日(火)	第3回 障碍弱視力27L2Z(OGC)	「敗血症、低栄養」 「脳卒中」 「眼瞼性筋肉痙攣」	0	22	22	
2010年11月2日(火)	第4回 障碍弱視力27L2Z(OGC)	「白黽賀症」 「髪髪炎」 「眼瞼性筋肉痙攣」	0	19	19	
2010年12月7日(火)	第5回 障碍弱視力27L2Z(OGC)	「敗血症、心内膜炎」 「大動脈内膜瘤」	0	16	16	
2011年1月4日(火)	第6回 障碍弱視力27L2Z(OGC)	「敗血症心内膜炎」 「大動脈内膜瘤」 「眼瞼性筋肉痙攣」	0	15	15	
2010年12月8日(水)	中耳炎の治療(Dr.C.)	講師は 耳鼻咽喉科部長 池田 登	33	24	57	

◆ 障碍弱視力27L2Z大入会場：亞韓三方原病院 医療徳事者 地						
開催日	研修内容	研修責任者	参加者数	計	0	110
2010年11月15日(月)	平成22年度人材育成連携拠点病院医療徳事者研修会:開催場所 亞韓三方原病院 水口仁二科部長 兼田 達也	「新Li/Li方式人材育成連携拠点病院医療徳事者研修会:開催場所 亞韓三方原病院 水口仁二科部長 兼田 達也」	42	0	42	
2010年9月7日(火)	第1回 障碍弱視力27L2Z(OGC)	「脳卒中」 「眼瞼性筋肉痙攣」	0	20	20	
2010年9月7日(火)	第2回 障碍弱視力27L2Z(OGC)	「敗血症、低栄養」 「脳卒中」 「眼瞼性筋肉痙攣」	0	18	18	
2010年10月5日(火)	第3回 障碍弱視力27L2Z(OGC)	「敗血症、低栄養」 「脳卒中」 「眼瞼性筋肉痙攣」	0	22	22	
2010年11月2日(火)	第4回 障碍弱視力27L2Z(OGC)	「白黽賀症」 「髪髪炎」 「眼瞼性筋肉痙攣」	0	19	19	
2010年12月7日(火)	第5回 障碍弱視力27L2Z(OGC)	「敗血症心内膜炎」 「大動脈内膜瘤」	0	16	16	
2011年1月4日(火)	第6回 障碍弱視力27L2Z(OGC)	「敗血症心内膜炎」 「大動脈内膜瘤」 「眼瞼性筋肉痙攣」	0	15	15	
2010年12月8日(水)	中耳炎の治療(Dr.C.)	講師は 耳鼻咽喉科部長 池田 登	33	24	57	

◆ ひたちなか市社会事業委員会／会場：里緑三方原病院 教員樓3階大木一丸						
開催日	研修内容	研修責任者	参加者数	計	148	346
2010年10月29日(金)	第20回ひたちなか市社会事業委員会	講演「医療安全への取り組みと実績」	0	148	148	
2010年10月29日(金)	第20回ひたちなか市社会事業委員会	講演「医療品の安全管理に関する問題と対応の問題」	2	196	198	
2011年2月25日(金)	第20回ひたちなか市社会事業委員会	講演「医療安全への取り組みと実績」	0	148	148	
2011年2月25日(金)	第20回ひたちなか市社会事業委員会	讲演野井千寻病院 上席院長補佐 天野 寛 先生				

内 容	参加人数	回数	院外	院内	合计	总计
			6	636	6	
洪松摄影·腋下摄影会						
小儿影像(儿科)与医師(妇科)与摄影和片子研修会	2	20	17	37		
看護教育講座	40	188	998	1,186		
妇女第一八一回事接待委员会	12	875	181	1,056		
摄影建模力(77L2A)	6	57	13	70		
市民公開講座	2	81	39	120		
妇女醫療從事者研修会	3	107	64	171		
臨床病理力(77L2A(CPC))	6	0	110	110		
聖隸教誥話会	1	33	24	57		
日本女子大學生講演会	2	2	344	346		
合 计	80	1,999	1,796	3,795		

- 【記事】
- ① 地域医療支援病院 税率・贈与税率実績
 ▶ 地域医療連携室税率までの2010年度実績報告。（別紙当日配布資料）
- 機器患者数が増加したことから、税率が前年83.8%から77.7%に減少した。
 数値の大部分が減少したことから、地域医療支援病院の取扱医療機器「税率80%以上・贈与税率60%以上」、また技術料率40%以上・贈与税率60%以上」が減少した。
 地区別に器具件数の推移をみると、天童区と浜北区が2007年度を第一回浜松市十津川院の移転の影響を受けた減少したが、旧浜松市地区では贈与税率が増加傾向にある。
 共同利用を行った医療機器件数は増加傾向にある。
 画像診断装置は2台で、2007年度を第一回減少したが、その後増加傾向にある。
- ② 共同利用の実績
 これがだ。
 地区別に器具件数の推移をみると、天童区と浜北区が2007年度を第一回浜松市十津川院の移転の影響を受けた減少したが、旧浜松市地区では贈与税率が増加傾向にある。
 共同利用を行った医療機器件数は増加傾向にある。
 画像診断装置は2台で、2007年度を第一回減少したが、その後増加傾向にある。
- ③ 救急医療の実績
 救急車の適正利用を重視した行政の対応による成果として過去2年、減少したが、2010年度は増

書類：小島 孝子

* 敬称略

出席者：牧原 雅（引佐郡医師会代表）

福垣 洋一郎、小島 孝子（院長）

高田 利幸（聖隸三万原病院・院長）、新村 実幸（聖隸三万原病院・院長）、
 斎藤 和功（聖隸三万原病院）、宮本 伸彦（聖隸三万原病院）、藤田 敦（聖隸三万原病院）、
 * 敬称略 50音順

宮尾 勝（浜松医師会代表）、吉田 繁（浜北医師会代表）、吉田 雄也（磐田医師会代表）

後藤 啓（浜松市臨床医師会）、木原 誠一（浜松医師会代表）、

出席者：石井 鮎弘（学識経験者）、木村 雅芳（磐田医師会代表）、大場 篤（浜松市代表）、

堀 所：聖隸三万原病院 厚生会館2階 小会議室

日 時：平成23年9月14日（火） 13:30～14:10

四 美術傳奇

• 諸多の要因が複数あることを意味する。

许多乡间回族以经商为生，已机织、裁缝、裁剪等手工业著称。不识文字者多从事放牧。

加拉福之死。

（註）此處所說的「政治」，是就其作為社會階級鬥爭的工具而言。

日猶猶美矣，無重復也。」固曰：

• 826 •

三

根据回数据 80 回次，外部分加人数据 1,999 人。2009 年度识别引出病害为 11 病种和 7 种

【算盤圖書】